

第2期三朝町まち・ひと・しごと創生推進会議（概要）

日時：令和6年2月28日（水）

10:00～11:15

会場：三朝町役場第4会議室

1 開会

2 松浦町長あいさつ

3 自己紹介

4 議題

- (1) 第2期三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標検証等報告
- (2) 三朝町過疎地域持続的発展計画事業実施状況及び達成状況
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
- (4) 温泉を活用した健康まちづくり事業基本計画骨子(案)

【岩本委員】

- ・三朝町は、光ケーブルを町内全域に整備され、ICT活用を進めている。
- ・観光面でのICT活用等、ご提案、お手伝いできることがあると思う。
- ・昨今、eスポーツ分野に注目しており、高齢者の認知症等予防対策でお手伝いできることがあると思う。
- ・デジタル田園都市交付金の活用事例等、我が社もノウハウを持っているので、今後提案を進めていきたい。

【塩谷委員】

- ・中学校、高校卒業後の学生との関わりができていないのではないかな。
- ・大学進学等で町外へ出た学生たちに三朝に帰ってきてもらえれば、活性化につながる。
- ・まずは、学生たちが今どうしているか、帰ってきたいと思っているか調査してみてもいいかな。

【小谷代理】

- ・住宅の着工件数が近隣市町と比較して少ないイメージがある。
- ・若年層の定住に係る支援が重要だと感じる。

【西田委員】

- ・小学校建設事業の進捗をドローンで撮影して、その様子をHPで公開している。
- ・施設の内装に町産の木材を活用しており、三朝らしい校舎に仕上がっている。

- ・フランス、台湾との学生同士の交流の場面でオンラインが大きな役割を果たしている。コロナが収まってきたことで訪問団の派遣が再開し、より深い交流が可能となっている。

【高見委員】

- ・空き家問題について、処分や活用等の対策をそれぞれ個別で考えるのではなく、一体的に連携させて考える必要がある。
- ・難しいことではあるが、民間の家屋をはじめ公共施設もそうだが、空き家になる前にその建物の処分のことを考えて行動する意識の指導や取組が大事。

【中嶋委員】

- ・三朝には光ケーブルが整備されていて、いいものがあるのでこれからは活用を検討していく必要がある。
- ・中学の映像制作は、素晴らしい取組で他市町から同様の取組をしたいという相談が我が社にも来ている。
- ・ラドン体操のテレビ放送を公民館で集まって見ていただいている実感がある。長く続けていく必要がある。

【伊垢離委員】

- ・三朝町は、近隣市町と比較して行政からの情報提供が少ないと感じる。
- ・面白い取組をされていると思うので、やって終わりではなく、取組前後の情報発信をもっと意識する必要がある。

【野上委員】

- ・他市町の成功事例を模倣することは効果的だと思う。
- ・住むのは三朝、働く場所は近隣市町といった具合に単体の町で物事を考えるのではなく、もう少し広域的な目線で考えることも良い。

【小川委員】

- ・森林浴をテーマに三朝町ならではの取組ができないか考えている。
- ・木育を通して、地域、地元を愛する気持ちを育てほしい。そのためにできることを一緒に進めていきたい。
- ・昨今は、どの企業も担い手不足に悩まされている。就労支援という面で行政と協力してできることを考えていく必要がある。

【山本委員】

- ・特別栽培米の取組に代表されるような品質にこだわった農産物の生産に取り組んでいる。

- ・作り手が自信をもって生産しているものでないと担い手も育っていかない。

【福田委員】

- ・以前、大瀬で区画整理したことがあって今はそこに人が集まってきている。同様の取組を行い、移住促進につなげていくのはどうか。
- ・町の創業支援を活用して事業を始める人が増えている。さらに支援策を充実させて町が元気になるよう一緒に取り組んでいきたい。

【沖田委員】

- ・三朝温泉街周辺で新しく事業を始められる人が増えてきたように感じる。
- ・一方で、老朽化した建物が残っていることでその後の周辺の活用が進まない事例があるので、行政でそこに介入する支援ができないものだろうか。
- ・情報発信は、三朝町圧倒的に弱いと感じる。民間も含めて協力しながら進めていく必要がある。

【松浦町長】

- ・大変貴重な意見を頂戴した。
- ・情報発信とデジタル分野での課題を感じている。
- ・頂戴したご意見を今後の施策にいかしてまいりたい。

5 閉会

11:15 閉会



会議の様子